

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成21年5月14日 (2009.5.14)

【公開番号】特開2007-279873(P2007-279873A)

【公開日】平成19年10月25日 (2007.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-041

【出願番号】特願2006-102694(P2006-102694)

【国際特許分類】

G 0 6 F 12/02 (2006.01)

G 1 1 C 16/02 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/02 5 1 0 A

G 1 1 C 17/00 6 0 1 E

G 0 6 F 12/00 5 9 7 U

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月30日 (2009.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

論理的記録単位で半導体メモリーに静止画データを記録するデータ記録装置であって、  
入力された信号を前記半導体メモリーに書き込む静止画記録データに変換する信号処理手段と、

前記静止画記録データを、前記半導体メモリーに書き込むインターフェース手段と、  
前記静止画記録データを書き込む前記論理的記録単位の配置を検出する検出手段と、  
前記静止画記録データに応じて、前記検出手段による連続する前記論理的記録単位を選択して記録する制御手段と  
を備えたデータ記録装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記静止画記録データのデータサイズに応じて、前記論理的記録単位の連続する数を選択する請求項 1 記載のデータ記録装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記静止画記録データのデータサイズが大きいほど、前記連続する数を大きくする請求項 2 記載のデータ記録装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記静止画記録データの記録画素数に応じて、前記論理的記録単位の連続する数を選択する請求項 1 記載のデータ記録装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記静止画記録データの記録画素数が大きいほど、前記連続する数を大きくする請求項 4 記載のデータ記録装置。

【請求項 6】

前記信号処理手段は、圧縮処理を行う圧縮手段をさらに備え、  
前記圧縮処理を行う場合に、前記圧縮処理を行わない場合に比べ、前記論理的記録単位の連続する数を小さくする請求項 1 に記載のデータ記録装置。

## 【請求項 7】

被写体像を撮像する撮像手段と、  
前記撮像手段により静止画を連続して撮像する連写手段と、  
前記撮像手段の出力を静止画記録データに変換する信号処理手段と、  
前記静止画記録データを、論理的記録単位で半導体メモリーに書き込むインターフェース手段と、  
前記静止画記録データを書き込む前記論理的記録単位の配置を検出する検出手段と、  
前記連写手段による連写時において、生成される前記静止画記録データに応じて、前記検出手段による連続する前記論理的記録単位を選択して記録する制御手段と  
を備えた撮像装置。

## 【請求項 8】

前記制御手段は、前記連写を行う場合に、前記連写を行わない場合に比べ、前記論理的記録単位の連続する数を大きくする請求項 7 に記載の撮像装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】データ記録装置、及び撮像装置

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

以上に述べた課題を解決するために、本発明のデータ記録装置は、論理的記録単位で半導体メモリーに静止画データを記録するデータ記録装置であって、入力された信号を前記半導体メモリーに書き込む静止画記録データに変換する信号処理手段と、前記静止画記録データを、前記半導体メモリーに書き込むインターフェース手段と、前記静止画記録データを書き込む前記論理的記録単位の配置を検出する検出手段と、前記静止画記録データに応じて、前記検出手段による連続する前記論理的記録単位を選択して記録する制御手段とを備える。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

本発明のデータ記録装置は、論理的記録単位で半導体メモリーに静止画データを記録するデータ記録装置であって、入力された信号を前記半導体メモリーに書き込む静止画記録データに変換する信号処理手段と、前記静止画記録データを、前記半導体メモリーに書き込むインターフェース手段と、前記静止画記録データを書き込む前記論理的記録単位の配置を検出する検出手段と、前記静止画記録データに応じて、前記検出手段による連続する前記論理的記録単位を選択して記録する制御手段とを備えるものであり、これにより、記録媒体としてフラッシュメモリーのような記録デバイスを使用して静止画データ記録する機器において、フラッシュメモリーにデータを書き込む際に、連続した領域に選択的にデータを記録するようにし、書き込み速度の低下を軽減することができるものである。